2009年 8月16日 第306号（第1・3・5日曜日 11,000部発行）

あさがおだより

㈱あさがお新聞店 本店 浜松市南区三和町670
info@asagao-news.co.jp

今週の話題
- ●デイサービスきらめき（下江町）
- ●ほっとの夏祭り（江之島町）
- ●ワンだふる シェパ君（白羽町）
- ●陶酔人 小山さん（中島） 他

えこはま に行ってきました

浜松市西区篠原町に新設された西部清掃工場。環境やリサイクルをテーマに市民の意識を高める施設『えこはま』が隣接しています。水泳場ToBiO(トビオ)から西にあるカラフルな建物です！

えこはまの運営に協力しているNPOエコライフはままつの山中恵美子さんが館内を案内してくれました。

「西部清掃工場では、燃えるゴミ・下水汚泥・他の処理工場から出た焼却灰、の3つを受け入れ、最新技術で環境へほとんど負担のない処理をしています」。

処理工程で発生するエネルギーは、工場内や隣接の総合水泳場ＴｏＢｉＯ（トビオ）の熱源としてフルに再利用され、最終的にできた溶融物は砂状にしてアスファルトなどの材料に利用しているそうです。実際に、そのシステムをガラス越しに見たり、パネルで分かりやすく学べるようになっています。

面白いのは、究極の再利用『リユース工房』。まだ使える木工家具などを実費で修繕してもらえます。岡本忠太郎さん(75)はピアノ製造に携わった経験をここで生かしています。修繕した品を格安で販売するコーナーもあります。希望者複数の場合は抽選です。

「競争率10倍の品もありました。捨てるはずだったものが、また喜んで使ってもらえるなんて自分もうれしいし、家具もうれしいだろうね」と岡本さんはニコニコ。

毎月第2日曜には、おもちゃ病院が開院。部品代のみで修理してもらえます。

東側ひろばでは年8回のフリーマーケット開催中。回を重ねるごとに参加者が増えているそうです。

「ぜひ活用して欲しいのが、エコ講座！工作や手芸、実生活に役立つ体験学習などたくさん。無料または格安で受講できます」と山中さんは教えてくれました。『傘布でマイバッグづくり』や夏休み向け『電池がなくても走るペットボトルカートづくり』も楽しそう。

今日は『段ボール式コンポスト講習会』。市内各地から9名が参加し、段ボールを使って、臭わず簡単なごみ減量、生ゴミをたい肥化する方法を実演で学びました。受講者は「家庭菜園でさっそく挑戦します」「今日は発酵の目安やたい肥の使用法がわかってよかった」と喜んでいました。

山中さんは「再利用や分別も大切ですが、一番重要なのは、一人一人がごみを減らす努力をすること」ときっぱり。

この夏、えこはまで環境のことを考えてみてはいかが。小学生の自由研究にも！

Ⓕ

「見学自由です」とスタッフ皆さん
ただし10人以上は予約が必要です

えこはま
TEL.440-0150
9時～16時
月曜休み（祝日除く）

運営会社浜松グリーンウェーブ
村河社長の施設イチオシ！
『資源物回収コーナー』
雑誌、アルミ缶、段ボールなど
西側に車を乗りつけ捨てられます

リユース工房
学習机は4千円～、桐のタンス4千円
座卓4千円、イス1脚千円など。
無料品も。

ゴミの水分を減らすため、かくはんしています。
最近は段ボールがゴミに多く混ざっているそう。
しっかり資源化しましょう！

『歯は健康と美しさの基本』
古い差し歯の付け根の黒ずみ 黄ばんだ差し歯 銀歯 入れ歯
ちらっと見える前歯の金属 左右対称でない前歯 大きすぎ小さすぎの前歯
丸すぎ四角すぎの前歯 出っ歯 八重歯 らん食い歯 etc…